

休日の楽しみ

年1回の川釣り & BBQ

毎年6月に行っている恒例の川釣りとBBQ。今年もリヴァースポット早戸川で、お施主様、ご家族、業者様、社員あわせて15名が集まりました。

釣れる魚は主にニジマス。途中で放流タイムあるのですが、夢中で竿を振る人もいれば、河原でのんびり休みながら楽しむ人も。釣れた魚はその場でさばいて炭火で焼きます。釣れたての魚は最高に美味しいです！社員同士はもちろん、お客様とも自然の中でゆっくり過ごすことで、普段の仕事では見えない一面にふれることができ、距離がぐっと縮まったように感じられました。来年も集まって楽しむことができればと願っております。

坂内



私たちの働く現場を是非ご覧ください。



編集後記

まだ夏の名残が感じられる日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。最近、生成AIの活用が教育やビジネスの現場でも広がっているというニュースをよく目にします。今回の神興ニュースで建設業のAI活用について記事を掲載しております。今後も、皆さまに役立つことや楽しんでいただける情報をお届けしてまいります。

営業部 坂内



〒154-0011 東京都世田谷区上馬 2-14-1
TEL : 03-3410-5590(代表)
FAX : 03-3795-6202

神興NEWS

神興建設株式会社 季刊誌



中小企業にも義務化された「熱中症対策」

2025年6月、厚生労働省は中小企業を対象とした熱中症対策の義務化を施行しました。これまで主に大企業や建設現場に限られていた取り組みが、今後はより広くすべての事業所に求められることとなります。義務化された主な内容

- 今回の法改正の柱となるのは、作業環境での「WBG T(暑さ指数)」の測定義務化です。
- WBG T値が28℃を超える環境下では、事業者が以下のような対策が求められます。
- 冷房機器の導入
- 扇風機やミストの活用
- 作業時間の見直し・調整
- 定期的な水分補給の指導
- 日陰・冷却スペースの設置

これらの対策は、従業員の体調不良や労働災害の未然防止につながる重要な施策と位置づけられています。

中小企業にとつての「負担」か？「投資」か？
新たな制度導入により、中小企業には一定のコスト負担が生じる可能性があります。特に冷房設備やミスト噴霧器の導入、作業環境の見直しなどには初期投資が必要です。

しかし、政府はこの負担を軽減すべく、中小企業庁を通じた補助金や助成制度の拡充を進めています。また、以下のような支援も提供されます。

- 設備投資に対する補助金
- 救急対応マニュアルの提供
- 従業員向けの熱中症研修プログラム

気候変動がもたらす新たなリスクと対応
近年、気候変動の影響により猛暑日が増加。厚生労働省によると、熱中症に起因する労災申請件数は年々増加しており、特に建設業・製造業・運送業など、高温環境下での作業が避けられ

ない業種では、従業員の健康リスクが深刻化しています。今回の義務化は、企業にとつての「安全対策」から「経営戦略の一部」への転換を意味するものです。職場環境の安全性向上は、労働災害のリスク低減だけでなく、従業員からの信頼確保、採用力の強化にもつながります。

熱中症対策は「コスト」ではなく「投資」と捉える
新制度の導入は、単なる法的義務ではなく、企業の成長戦略にも直結するものです。中小企業がこの変化を「コスト」と見るか「未来への投資」と捉えるか、その姿勢が今後の持続可能な経営の鍵を握ります。従業員の命と健康を守ることは、企業の価値を守ることにつながります。この夏、そして未来に向けて、いま一度、職場の熱中症対策を見直してみませんか？

Vol.

66

2025 AUTUMN

今月号の
コンテンツ
CONTENTS

◆ 中小企業にも義務化された「熱中症対策」

- ◆ 竣工物件ご紹介 (仮称) 豊玉北2丁目プロジェクト新築工事 / (仮称) 芝大門大規模修繕工事・耐震改修工事 (仮称) ふじロマンズ大規模修繕工事 / (仮称) 北沢5丁目共同住宅
- ◆ 施行中物件ご紹介 (仮称) 新宿中落台1丁目集合住宅新築工事 / (仮称) 西ヶ原3丁目プロジェクト新築工事
- ◆ 新入社員紹介 ◆ 建築業における安全衛生管理の新しい枠組み / 建築業にも広がるAI活動
- ◆ 休日の楽しみ ◆ 編集後記

竣工物件ご紹介

前号から今号までに竣工した物件をご紹介します



（仮称）豊玉北 2 丁目プロジェクト新築工事

令和7年5月に（仮称）豊玉北2丁目プロジェクトが竣工いたしました。地下1階、地上4階の賃貸マンションの建物です。目の前が中学校で静かな住宅街の中にあり、4階のルーフトバルコニーからは富士山も望むことができます。地下という暗い湿気っぽいなどのイメージがあると思いますが、当建物はドライエリアを広く取ることでより開放的な地下1階になっております。4095個のタイルを1枚1枚貼りあげたエントランスは高級感あふれるものとなっております。最後に、着工から竣工までご協力いただいた全ての皆様のおかげで無事故・無災害でお引渡しできました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



／ 発 注 者	株式会社 M&H アセットマネジメント
／ 所 在 地	東京都練馬区豊玉北
／ 構造・規模	鉄筋コンクリート造・地下1階建て・地上4階建て
／ 設 計 者	有限会社アルファブレイン 一級建築士事務所
／ 敷地面積	526.85㎡
／ 建築面積	359.43㎡
／ 延床面積	1476.37㎡
／ 担 当 者	小島 / 山本 / 吉田 / 加藤



（仮称）ハイツ芝大門大規模修繕工事・耐震改修工事

主要道路国道15号線（第一京浜）に面する11階建て築年数50年のマンション耐震改修工事と並行して大規模修繕工事も行いました。本工事は、災害時における特定緊急輸送道路沿道助成を受けての事業です。耐震はスマートビタ工法（鉄骨・鉄筋の柱・梁構造）を採用。既存バルコニー解体・窓のベニヤ塞養生など住人の皆様、近隣の皆様のご理解・ご協力が不可欠でした。理事会様・設計監理者様・マンション管理会社様との綿密な打合せを重ね完成いたしました。工事関係各位に感謝申し上げます。災害時の安全性向上に寄与出来れば幸いです。

／ 発 注 者	ハイツ芝大門管理組合
／ 所 在 地	東京都港区芝 1-14-1
／ 構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄筋コンクリート造・地上11階建て
／ 設 計 者	（耐震工事）株式会社耐震設計 （大規模修繕工事）太平洋興発株式会社
／ 敷地面積	340.30㎡
／ 建築面積	234.90㎡
／ 延床面積	2481.86㎡
／ 担 当 者	酒井



(仮称)ふじロマンズ大規模修繕工事



令和7年3月初旬より着工したふじロマンズ大規模修繕工事が7月31日に完了しました。当初、工期3カ月間の予定でしたが、途中で施工範囲の拡大があったため当初の予定より2ヶ月延長となり、ご入居の皆様や職員の方々およびご近隣の皆様へは多大なるご不便、ご迷惑をおかけすることとなりましたが、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。主な作業内容は外壁修繕で、タイル部分は洗浄・接着剤注入および張替えで綺麗になり、塗装部分は以前より淡い基調で仕上げを施し、全体的に明るい感じの建物に生まれ変わりました。お住まいになられる方々にも喜んでいただけたのではないかと思います。

発注者	三菱UFJ信託銀行株式会社
所在地	神奈川県小田原市多古
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上5階建て
設計者	-
敷地面積	1807.32㎡
建築面積	678.77㎡
延床面積	2447.99㎡
担当者	芳賀 / 表

(仮称)北沢5丁目共同住宅

京王線笹塚駅より徒歩5分という利便性の高い場所に賃貸マンションが完成しました。周りにはワンルーム賃貸が多いため、差別化をはかりたいという建主様のご提案で鉄筋コンクリート造のファミリータイプのマンションを計画されました。

2階建てながら鉄筋コンクリート造ならではの重厚な建物で、その点でも差別化が出来たのではないかと思います。

場所柄、高めの賃料設定での募集開始でしたが、完成後約1ヶ月以内で満室となり、建主様の先見の明に驚かされた次第です。

発注者	T様
所在地	東京都世田谷区北沢
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上2階建て
設計者	株式会社 柏木建築設計事務所
敷地面積	198.20㎡
建築面積	138.00㎡
延床面積	254.50㎡
担当者	芳賀



施工中物件ご紹介

前号から今号までに施行中の物件をご紹介します

(仮称)新宿区中落合1丁目集合住宅新築工事



当現場は、中井駅から徒歩6分の場所に位置しています。建物の計画としては、鉄筋コンクリート造、地下1階・地上3階建ての共同住宅となります。隣地との高低差がある為、擁壁解体をする際は慎重に作業を行わなければなりません。また、現場の前面道路は通学路になっている為、工事中は歩行者に十分注意して作業を行うことが必要となります。竣工するまで無事故無災害でお客様に喜んで頂けるような建物を施工してまいります。

発注者	S様
所在地	東京都新宿区中落合
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地下1階建て・地上3階建て
設計者	株式会社もなか 一級建築士事務所
敷地面積	228.15㎡
建築面積	147.02㎡
延床面積	517.39㎡
担当者	芳賀

(仮称)西ケ原3丁目プロジェクト新築工事

当現場は東京メトロ南北線西ケ原駅から徒歩3分ほどの場所となります。建物の計画としては、鉄筋コンクリート造地上5階建て17戸の共同住宅です。周辺には保育園や中学校があり、地域コミュニティも活発で閑静な住宅街ではありますが、ほどよい賑わいを感じられます。現在、工事開始に向けて準備を進めております。前面道路は狭い道路になりますので各業者様と念入りに打合せをし、第三者災害、作業員の皆様に事故のないよう安全第一で進めて行きたいと思っております。お客様に喜んでいただけるような品質の建物を目指して施工いたします。

発注者	株式会社 M&H アセットマネジメント
所在地	東京都北区西ケ原
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上5階建て
設計者	一級建築士事務所 奥野公章建築設計室
敷地面積	285.95㎡
建築面積	218.83㎡
延床面積	857.86㎡
担当者	鼻崎 / 藤崎



新入社員紹介



しぶや そう
澁谷 爽

生年月日	2002年6月8日	出身校	金足農業高校	趣味	音楽鑑賞 / 読書
------	-----------	-----	--------	----	-----------

今年の9月に入社しました、澁谷爽と申します。
出身地は、日本有数の米どころである秋田県です。私自身、お酒を飲むことが好きなのですが、秋田の日本酒はとても美味しいので是非、試してみてくださいたいです。今回、神興リファインの一員として働く機会をいただき、新しく基盤を築けていける環境で働けること、とても楽しみに感じておりました。良くも悪くもできてしまうポジションだとも自覚しているため、会社と共に成長し、神興リファインの顔となれるよう、責任感を持って、精進してまいります。これから何卒よろしくお願いいたします。

建設業における 安全衛生管理の新しい枠組み

建設現場では、気候変動の影響や働き手の多様化、社会全体の安全意識の高まりを背景に、安全衛生管理をめぐる法制度が変化しています。そこで、世田谷建設協会の勉強会で渋谷労働基準監督署の方をお招きして、近年の法改正等についてご講いただきましたので、法改正の内容及び実務における対応ポイントをご報告いたします。

主な改正・新制度 / 法令・施行日	改正内容の概要
労働安全衛生法(安衛法)改正 (2025年4月1日施行)	・表示・通知対象化学物質の追加 ・化学物質管理体制の強化(リスクアセスメント、SDS交付義務など) ・請負人等への危険情報の周知義務拡大 スマートSDSジャーナル+1
労働安全衛生規則(安衛規) 改正：熱中症対策義務化 (2025年6月1日施行)	熱中症の早期発見体制の整備、重症化防止のための手順書作成、関係 作業員への周知義務などを含む義務が追加。罰則付き。
建設業法等の改正 (公布：令和6年6月7日 「建設業法及び公共工事の入札 及び契約の適正化の促進に関 する法律」の一部改正)	・労働者の処遇改善（賃金引上げ等）を目的とする規定の強化 ・資材高騰時の労務費へのしわ寄せ防止、契約の透明性向上 ・発注者・受注者双方に対する契約内容の見直し義務、原価割れ契約 の禁止等 ・ストレスチェック義務化拡大の検討 ・化学物質に関する更なる規制強化

実務における対応ポイント

1. リスクアセスメントの定期実施と記録化

化学物質使用や熱中症リスクがある作業について、使用前にアセスメントを行い、結果を記録。作業手順や安全対策を含めて明文化すること。

2. 化学物質管理の見直し

SDS（安全データシート）、ラベル表示のチェック・更新。請負業者・下請け業者にも通知義務・周知を確実に。

3. 熱中症対策体制の強化

WBGTモニタリング、休憩・水分補給タイミング、影響が大きい時間帯の作業回避など。体調チェックや手順書の整備、作業員教育。

4. 契約・工期・賃金等の見直し交渉

発注者との契約で安全確保のための工期・作業体制・資材調整などが十分見込まれているか確認。原価割れ契約は避け、安全衛生をおろそかにしない見積もりを。

5. 教育・研修のアップデート

現場担当者・作業員に対して、法令改正内容の周知を含む研修を実施する。化学物質取扱い・熱中症対応・契約上の安全確保などをテーマに。

6. 監督体制・内部チェックの強化

安全衛生管理者・安全担当者による現場巡回チェック、外部助言の活用、違反リスクのある手順や資材の使用についてチェックリストを整備。

建設業にも広がる AI活動

8月1日、神興会との合同勉強会で建設ITジャーナリストの家入龍太先生に「建築業にも広がるAI活動」についてご講演いただきました。

近年、建設業界でもAI技術の活用が進んでおり、生産性の向上や働き方改革を実現する手段として注目されています。中でも、OpenAIが提供する「ChatGPT」は、文章の生成、校正、要約、翻訳、議事録の作成など、コミュニケーションや事務作業の効率化に大きな力を発揮しています。

たとえば、現場での報告書や補助金申請書などの文書を分かりやすく整える、会議録音データから議事録を自動生成する、外国語メールの翻訳や下書きを行うといった作業がChatGPTでスムーズに行えます。これにより、現場担当者の負担を大幅に軽減し、作業時間の短縮にもつながります。

また、AIと建設現場の連携も進んでいます。「OPTiM Taglet」は、現場の写真にタグをつけることで、AIが報告書を自動作成するサービス。さらに、「BizStack Assistant」では、AIが現場の異常をリアルタイムで検知し、チャットで通知します。これにより、迅速な対応が可能となり、安全管理の質も向上します。

さらに注目されるのが、「デジタルツイン」という考え方です。360度カメラや3Dスキャナーを用いて現場をスキャンし、クラウド上に3Dモデルを構築。代表例である「zenshot」では、わずか数分の撮影で現場を3D化し、離れた場所から複数の現場を管理することができます。これにより、移動のムダを約60%削減したという事例もあります。

AIは安全教育の分野でも活躍しており、写真からリスクを検出する「安全支援アプリ」や、VRを活用した足場事故体験教育なども導入が進んでいます。また、熱中症対策として、作業員の体調をクラウドで一括管理できるシステムも実用化されています。

これらの技術を効果的に活用することで、建設業界は今後、さらなる効率化と安全性の向上を実現していくことが期待されます。AIを使いこなせる人材が、これからの現場を支えていくのです。



講師 家入 龍太 様

いえいり りょうた

建設ITジャーナリスト／株式会社建設ITワールド代表取締役
BIM／CIMや情報化施工、スマート建設などの最前線取材し、建設業のDX（デジタル変革）に関する情報を発信する建設ITジャーナリスト。
京都大学・ジョージア工科大学大学院で土木工学を学び、JFEエンジニアリング、日経BP社を経て独立。建設業の生産性向上、環境配慮、働き方改革などの課題にITで挑む姿勢を貫いている。著書に「図解入門よくわかるBIMの基本と仕組み」「CIMが2時間でわかる本」など多数。中小企業診断士、1級土木施工管理技士、自家用飛行機免許など資格も多彩。